



加藤 克之 議員
政新会

問 交通安全と渋滞緩和対策は

答 愛知県に対して協力の要請



▲平島中の交差点



▲学校給食再開後の給食

問 県道新政成弥富線に関して以下問う。
信号機設置の地名表示板取り付けは。

答 建設部長 平島地内未設置信号機は県に対して要望。

問 右折レーンがあるが、右折矢印信号の取り付けは。

答 運用指針に基づき、今後の交通事情の変化で検討。

問 「平島中」から「南前新田」に行き来する間に横断歩道設置の考えは。

答 蟹江警察署で検討中。管理者の県に対し要請もしている。

▲新庁舎南の交差点



問 新庁舎前から南の横断歩道箇所信号機設置の取り組みは。

答 信号機設置の指針では、「隣接する信号機との距離が原則として150m以上離れていること」とあるが、市としては信号機設置の要望をしていく。

問	子どもたちへの コロナ対策は
答	保護者の経済的 負担の軽減を

問 コロナ感染症対策本部設置の部署と構成メンバーは。

答 健康福祉部長 対策本部を健康推進課に設置し、市長を本部長とし12名で構成。

問 海南病院との連携と情報共有は。

答 地域医療支援委員会で情報交換や市民からの要望等を共有する。

問 学校教育と保育所のこれまでの取り組みと、今後の体制は。

答 教育部長 学習支援や心のケアとして、家庭への電話や訪問など実施したが、児童生徒の状況把握の難しさを感じた。

健康福祉部長 保育所は自粛要請期間は約4割の登園。感染リスクを最小限に抑えるよう対策を徹底し、適時適切な指導を心掛ける。

問 これまでの学校給食の取り組みと今後の体制は。

答 教育部長 3月から5月は実施せず。6月3日から再開。

4月と5月の給食費は準要保護世帯に支援。

7月と8月は全員無償化。

問 今後、子どもたちの新しい学校生活の取り組みと方向性は。

答 国のガイドラインに従い指導。夏休み期間を短縮し、遅れた授業に対応。